

1. 略歴

- 1990年3月 岡山大学文学部史学科卒業
1990年4月 大阪市立大学文学研究科修士課程東洋史学専攻入学
1992年3月 同上 修了。文学修士の学位を取得
1992年4月 大阪市立大学文学研究科博士課程東洋史学専攻入学
1994年9月 武漢大学（中国）にて歴史系高級進修生として在外研究（～1996年7月）
2001年3月 大阪市立大学文学研究科博士課程東洋史学専攻修了。大阪市立大学文学研究科より博士（文学）の学位を取得
2001年10月 岡山大学文学部助教授
2006年4月 岡山大学大学院社会文化科学研究科助教授
2007年4月 岡山大学大学院社会文化科学研究科准教授
2010年4月 東京大学大学院人文社会系研究科准教授

2. 主な研究活動

a 専門分野

中国古代史

b 研究課題

皇帝権力の形成と展開、4～5世紀の遊牧民族の南下と社会変容、都城史、石刻史料を用いた社会史

c 主要業績

(1) 著書

編著、「中国中古史」編集委員会、『中国中古史研究：中国中古史青年学者聯宜会会刊 第一輯』、2011.2

(2) 論文

佐川英治（劉嘯訳）、「東魏北齊革命与《魏書》的編纂」、陳鋒・張建民主編『中国古代社会經濟史論——黃惠賢先生八十華誕紀念論文集』、湖北長江出版集團・湖北人民出版社、426-448頁、2010.6

佐川英治・阿部幸信・安部聡一郎・戸川貴行、「日本魏晋南北朝史研究的新動向」、『中国中古史研究』、1、2011.2

佐川英治、「中国古代の都城の空間」、『文化交流研究』、24、2011.3

佐川英治、「漢魏洛陽城研究の現状と課題」、『洛陽学國際シンポジウム報告論文集』、2011.3

佐川英治、「游牧与農耕之間—北魏平城鹿苑的機能及其變遷—」、『中国中古史研究』、2、2011.9

佐川英治、「漢代の郊祀と都城の空間」、小嶋毅編『東アジアの王権と宗教』、勉誠出版、40-51頁、2012.3

(3) 学会発表

國際、佐川英治、「漢六朝時代的郊祀与城市規画」、中古時代的禮儀、宗教与制度國際學術研討会、復旦大学、上海、2010.11.7

國際、佐川英治、「漢魏洛陽城研究の現状と課題」、洛陽学國際シンポジウム、明治大学、東京、2010.11.27

國際、佐川英治、「中国中古軍功制度初探」、唐長孺先生百年誕辰紀念國際學術研討会暨中国唐史学会第十一屆年會、武漢大学、武漢、2011.7.4

國際、佐川英治、「中国中古都城史研究的方法及意義」、第五届中国中古史青年学者國際研討会、首都師範大学歴史学院、北京、2011.8.28

國際、佐川英治、「論六朝建康在中国古代都城史上的地位」、江南地域文化的歷史演進國際學術研討会、南京國際會議酒店、南京、2011.9.4

國際、佐川英治、「曹魏明帝太極殿の所在」、中国魏晋南北朝史学会第十屆年會暨國際學術研討会、山西大学歴史文化学院、太原、2011.10.19

国内、佐川英治、「六朝建康の歴史的位置づけについて」、六朝建康と都城研究 シンポジウム、東京大学、2011.12.8

國際、佐川英治、「南北朝新出土墓誌的实地觀察—南京、洛陽、西安、太原—」、東亜碑刻史料解説工作坊、台湾大学、台北、2011.12.9

(4) 予稿・會議録

國際會議、佐川英治、「漢六朝時代的郊祀与城市規画」、2010.11.7

國際會議、佐川英治、「中国中古軍功制度初探」、2011.7.4

国際会議、佐川英治、「中国中古都城史研究的方法及意義」、2011.8.28

国際会議、佐川英治、「論六朝建康在中国古代都城史上的地位」、2011.9.4

国際会議、佐川英治、「曹魏明帝太極殿の所在」、2011.10.19

(5) **研究テーマ**

文部科学省科学研究費補助金、佐川英治、研究代表者、「最新の考古調査および礼制研究の成果を用いた中国古代都城史の新研究」、2010～

文部科学省科学研究費補助金、佐川英治、分担者(代表者は東大外)、「中国古代軍事制度の総合的研究」、2008～

文部科学省科学研究費補助金、佐川英治、分担者(代表者は東大外)、「石刻史料と史料批判による魏晋南北朝史の根本問題の再検討」、2010～

文部科学省科学研究費補助金、佐川英治、分担者(代表者は東大外)、「魏晋南北朝時期主要都城の「都城圏」社会に関する地域史的研究」、2011～

3. 主な社会活動

(1) **他機関での講義等**

非常勤講師、大阪教育大学、「中国古代の都城の空間」、2012.2

(2) **学会**

国内、史学会、史学雑誌編集委員会、2011.4～

国内、中国社会文化史学会、評議員、2011.7～